

太田生涯学習報

はばたき

■発行 秋田県大仙市教育委員会 太田分室
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3
TEL 0187-88-1119・FAX 0187-88-2044
太田分室・太田公民館・給食センター

目次 表紙・・・この喜びを一步前進

スポーツ大会・太田分校・・・・・・2ページ
 親子読書・新刊案内・・・・・・3ページ
 町史編さん・学びい教室・・・・4・5ページ
 情報アラカルト・輝人さん・・・・6ページ
 俳句・短歌紹介・輝人さん・・・・7ページ
 教育随想・太田の子育て・・・・8ページ

題字：木元嘉扇かせん (本名：悦子) さん・大町



公式戦、初の白星！夏の県大会初戦突破の勇姿
(7/23, 能代市営球場・太田分校野球部)



ふれあい通学合宿 (7/6, 北小・クラブハウス)



ぬり絵教室 (7/6, 太田公民館)

この喜びを一步前進

～ 努力・友情・思いやり ～

胸を張って大きな声で歌う校歌。写真からでも部員の喜びと感動が伝わります。待ちにまった公式戦での1勝です。相手は五城目高校、4対4で延長戦に入り10回表に2点を奪い、みごと白星。これまでの努力が稔った瞬間です。2回戦も第4シードの強豪の大館工業高校を相手に6対2と大健闘でした。太田分校の活躍に、太田に一陣のさわやかな風が吹きました。

4・5・6年の子どもたちが、2泊3日の共同生活を体験する「ふれあい通学合宿」がクラブハウスで始まりました。これは、思いやりや助け合う心、進んで物事をやりぬく「生きる力」を育むことができるように支援する太田地域独自の事業です。全国では静岡県で1校と実施7年目の太田地域だけで、子どもたちも喜んでの参加です。今後、南小・東小と小グループ単位での合宿が11月下旬まで続きます。



今年も始まっています

体協のスポーツ大会

大仙市体育協会主催の各種スポーツ大会が6月4日の家庭バレーボール大会から始まりました。体協では、住民の方々が気軽に参加できる大会をこの後も開催していきます。詳しくは体協の地区長がご案内いたしますので、ふるってご参加ください。今回は、これまでの試合結果をお知らせします。

【家庭バレーボール大会】

6月4日開催・8チーム参加

※35歳以下の部

優勝 下堰地区

準優勝 三本扇地区

第3位 太田・横沢・斉

内の3地区

※36歳以上の部

優勝 下堰地区

※最優秀選手賞 伊藤明子

【ソフトボール大会】

6月25日開催・10チーム参加

優勝 三本扇地区

準優勝 上堰地区

第3位 駒場・中里の2地区

地区

最優秀選手賞 斉藤喜市

優秀選手賞 高橋良嗣



バレーボール大会優勝の下堰チーム

【野球大会】

7月9日開催・6チーム参加

優勝 太田地区

準優勝 下堰地区

第3位 上堰・三本扇の2地区

9つの講座開設 講師の方に感謝 大農太田分校で

県立大曲農業高校太田分校では、昨年度から年2回「みんなの登校日」を実施しています。この「みんなの登校日」は、学校の活性化はもとより、地域の方々に学校の活動内容を知ってもらうと共に、地域でご活躍の方々からご指導いただきます。そして、生徒がさまざまな体験をとおして新しい発見とめぐり合い、自ら生きる力の手助けとなることをねらいにしています。

今回は、6月28日と30日の3日間にわたり、授業の公開や郷土芸能部の演示、さらに28、29日には太田公民館のご支援を受け、地域で活動されている講座の指導者を講師にお招きして9つの講座を開きました。

先生方の熱意に生徒も職員も、ほどよい緊張感と和やかさの中に実り多い公開講座となりました。

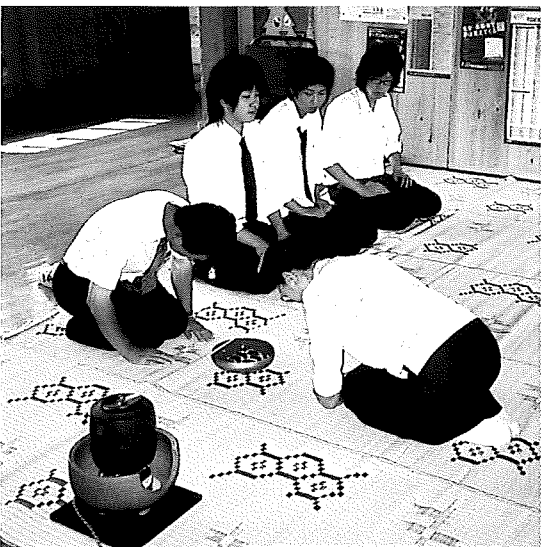
講座の内容、講師、参加者は次のとおりです。

- ◇ IT講習会↓小松正幸先生 (16名参加)
- ◇ 料理講習会↓芦野節子先生ほか二名 (18名参加)
- ◇ 東今泉八幡太鼓↓大信田悟先生ほか1名 (3名参加)
- ◇ 囲碁講習会↓高橋冬樹先生 (17名参加)
- ◇ 書道講習会↓木元悦子先生 (4名参加)
- ◇ 茶道講習会↓鈴木克子先生ほか3名 (4名参加)
- ◇ 陶芸講習会↓後藤光三先生 (18名参加)
- ◇ 三B体操講習会↓鈴木悦子先生ほか1名 (9名参加)
- ◇ 押し花講習会↓小松ミホ先生ほか1名 (6名参加)

30日は、1週間練習した計算ドリルの本番でした。その後、分校の先生方の趣味や特技を生徒と共有し合うオープンセミナーを実施するなど、この3日間の「みんなの登校日」は、皆様のおかげで活気に満ちた手ごたえのあるものとなり、地域の皆様に深くお礼を申し上げます。

後期の「みんなの登校日」は、9月13日と15日を予定しています。全国高等学校野球選手権大会秋田県予選で公式戦一勝、悲願の初戦突破した野球部も意気揚々です。地元高校・太田分校の「みんなの登校日」前期以上に多くの地域の方々のご参加をお待ちいたしております。

(教諭・高橋ヒナ子)



茶の湯にも挑戦!

親子読書 ⑦

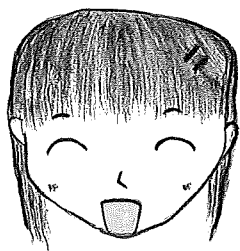
この本だーりすき

「ハッピーバースデー」から

学んだこと

太田東小学校五年

高橋 桂子



私の顔

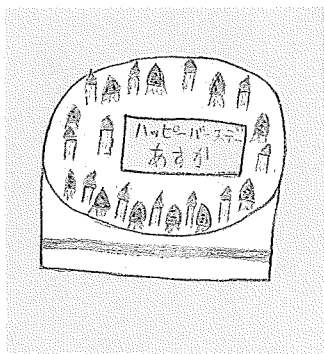
この本は、お母さんの事が大好きなのに、相手にされず、つらい思いをいっぱいする女の子「あすか」のお話です。

お母さんは、いつも兄さんばかりを見ています。自分が悲しい気持ちでいっぱいなのに、あすかはいじめられていた友達を助けてました。すぐくえらいなああと、思いました。そしてまた、クラス担任の先生や、おじいちゃん、おばあちゃんにやさえられて、明る

くなって、

「本当によかったなあ」と思いました。

十二才の誕生日に、お母さんがバースデーケーキを作ってくれて、みんな仲よくなつてよかったです。私も友達や家族を一生大切にしたいと思いました。



桂子さんの感想画

(母) 千香子

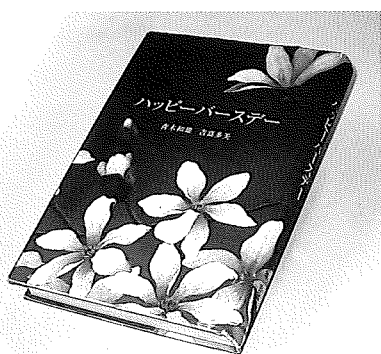
十一才の誕生日に、母親の心ない一言によって声が出なくなつた少女あすか。でも周囲の人達の支えにより少しずつ生きる力を取り戻し、立ち直り、一年後の十二才の誕生

日には眩しいほどに輝く笑顔で皆に囲まれている少女の成長の物語です。

人はなぜ冷たい言葉で相手の心を傷つけ、不快にさせるのか。人の心を明るくし、和ませ勇ませる暖かい言葉を発する事がとても大事だと思えます。お互いがそれぞれの存在の大切さに気づき思いやる気持ちがあれば、自然にやさしい言葉が出てくると思います。

この本は、子ども達が「ぜひ大人に読んでほしい本」として、大人達に薦めているようです。世代を超えて読んでほしい一冊です。

青木和雄・吉富多美著
金の星社



太田図書館の新刊

5/1~6/30 購入分

- 乳を売る朝の霧 松田 解子
- 蟹工船 一九二八・三・一五 小林多喜二
- 齋藤孝のイッキによめる! 名作選小学1年生
- 齋藤孝のイッキによめる! 名作選小学3年生
- プロジェクトX挑戦者達29 曙光 激闘の果てに
- 手術でわかるいい病院2006 山口 一臣
- 添削で俳句入門 西村 和子
- 小野小町ものがたり 小野 一二
- 生協の白石さん 白石 昌則
- 容疑者Xの献身 東野 圭吾
- 六星占術 運命と宿命 細木 和子
- 六星占術 心の常識
- 日露戦争の世紀―連鎖視点から見る日本と世界― 山室 信一
- デイアスポラ紀行―追放された者のまなざし― 徐 京植
- ベトナム戦争と平和石川文洋
- 働きすぎの時代 森岡 孝二
- チーム・パチスタの栄光 海堂尊
- 歌枕とうほく紀行 田口 昌樹

■ 憲法九条の戦後史 田中 伸尚

■ だます心だまされる心 安斉 郁郎

■ 幼児期子どもは世界をどうつかむか 岡本 夏木

■ 秋田のむがしこ 今村義孝・泰子

■ 子どもたちの8月15日 岩波新書

塩野米松の世界へ

太田図書館では、秋田県出身の作家の作品紹介をしています。今回は第4弾として、聞き書き作家で仙北市角館町出身の芥川賞候補・塩野米松の作品を展示しています。

自分の生きてきた姿に重ね合わせて読んでいただければ……



町史編さんだより

徒歩からマイカーへ

～変わる交通、変わる暮らし～

これは、昭和十二年（一九三七）の横沢小学校（現在の南小学校、当時の正式名称は横澤尋常高等小学校）の児童調査の一部です。昭和十二年は、今から六十九年前。当時の小学生は、現在八十歳くらいの方です。そして、この年の横沢小学校の児童数は八百八十六人。調査項目はもちろん、児童数字にも時代を感じます。今回は、交通をテーマに太田の歩みを探ります。



花嫁の出発（昭和4年頃齊内、自動車に乗ることは特別なこと）

家に自転車がある
四百四十七人 50%（百分比）
汽車に乗ったことがある
四百五十九人 52%
海を見たことがある
六十九人 8%

太田初の自転車

『長信田村史話』によると、太田初の自転車は、明治三十三年（一九〇〇）。ちなみに、当時の自転車は木造の車輪に鉄の輪をはめたものでした。

その他、記録をたどると、大正元年（一九一二）の自転車台数は、秋田県で七十六台、うち仙北郡は一〇五台となっています（『大曲市史』）。

大正十四年（一九二五）生まれの人の話によると、戦前の交通手段は徒歩が基本で、自転車はもちろん高級品。米二俵くらいとの物々交換で、大曲に通学するため買ってもらったとのこと

です。

バスの時代へ

太田では、昭和十九年ころに、大曲～横沢・角館～六郷の路線バスが運行していました。

自家用車の普及まで、交通の主役だったバス。乗車率もかなりのもので、大曲から横沢へ向かう最終便ともなると全員入りきれず、高梨などの近い人は歩いて帰ってもらわざるを得なかったほどです。多くの人を運ぶため、乗客をいかにきれいに並ばせるか。車掌の腕の見せどころでした。

昭和二年に横沢の田口自動車協会が角館～横沢間、昭和十八年ころに、東今泉の大信田清一が、長野駅までの乗合自動車を始めています。ともに太田のタクシーのはじまりです。

グラフに見る交通

全国的に、自家用車が普及し始めたのは一九七〇年代に入ってからのことです。そこで、自家用車の普及によって、社会がどのように変わったのか、その

(表1)

年 代	総 数	(内 訳)													
		秋 田 市	西 仙 北	神 岡 町	大 曲 市	仙 北 町	中 仙 町	角 館 町	西 木 村	田 沢 湖	千 畑 町	六 郷 町	仙 南 村	横 手 市	そ の 他
昭40 (1965)	141	-	-	-	41	13	17	31	-	11	15	0	-	-	13
昭45 (1970)	218	10	-	-	55	11	29	48	-	15	18	13	-	-	19
昭50 (1975)	350	13	-	-	101	12	47	108	-	17	17	11	-	8	16
昭55 (1980)	634	22	-	-	200	31	62	148	-	57	36	19	-	23	36
昭60 (1985)	786	14	-	14	254	60	76	154	-	27	57	17	-	24	89
平2 (1990)	1,011	17	2	18	323	89	110	163	4	23	120	33	7	31	71
平7 (1995)	1,356	28	10	25	417	150	145	195	11	38	144	51	17	51	74
平12 (2000)	1,528	27	11	21	469	172	194	220	14	44	163	68	18	54	53

目安として、昭和四十年（一九六五）以降の、太田から、他町村への十五歳以上の通勤者数をまとめてみました（表1）。参考として昭和五年の統計も載せています（表2）。

表をみると、昭和四十年から平成十二年までの三五年間に、およそ十倍に増加したことになります。

ただし、自家用車の普及による通勤



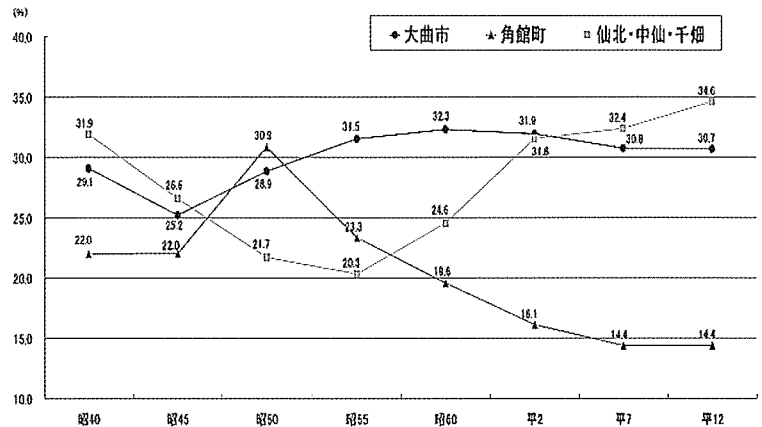
町道久保関古館線の舗装作業 (昭和47年頃、この以降砂利道から舗装道路へと整備が進む)

たことや、働きに出る女性が増えたことなど、交通事情も含めた、いろいろな社会の変化が影響してのことです。また、大曲・角館はもちろん、仙北町・中仙町・千畑町への通勤者数の増加が目立ちます。そこで、他市町村への通勤者の割合を表してみると、以下

(表2)

年	旧村名	総数	(内 訳)			
			角館町	清水村	長信田村	その他
昭5 (1930)	長信田村	36	11	-		15
	横沢村	67	12	22	11	22

圏の拡大だけが原因ではありませぬ。農業を取り巻く状況が変わって、農業以外の仕事に就く人が増え



の傾向が読み取れます。①初めは、大曲と角館といった、いわゆる「街」への通勤者が多くの割合を占めていました。②昭和五十五年から、特に、隣接する仙北町・中仙町・千畑町への通勤者の割合が増加していま

す。太田公民館で7月25・26日の二日間、夏休みの小・中学生の勉強を手助けする「太田学び教室」が開かれました。昨夏、昨冬に続き3回目。指導に当たるのは、小・中学校の教員OBや太田総合支所の職員、高校生、ボランティアなど20人。町内の三つの小学校から63人の児童が参加しました。個々の学力に応じた指導で学力向上が目標。公民館ではワークブック問題集を準備のほか、子供たちには自分の課題を持ち寄ってもらいました。

夏休み 「学び教室」開催 63人が参加

このことは、働く場所が、街だけではなく、広く農村にまで拡大していることを示していると言えそうです。最近では、広い駐車スペースを備えた郊外へと街の中心部が移りつつありますが、これも、交通と深い関わりがありそうです。交通の変遷はライフスタイルの変化でもあります。表1に見る限り、生活圏の急速な拡がりはまだまだ続きそうです。



夏休みは、まだまだ続きます。公民館内の図書館・談話室・学習室を開放しています。涼しい部屋でじっくりと読書・勉強をしてみたいかががでしょうか。

教室は、国語・社会・算数・理科・習字の5教科を対象に、小学校低学年・中学年・高学年のクラスに分かれて、2時間の授業でした。今回初めて参加した高橋耀さん(太田南小3年)は、「勉強するのがきらいだったけれど、公民館でやったら楽しくやれました」と話していました。

情報アラカルト

給食だ～いすき「みんなの登校日」から

6月21日の太田北小の「みんなの登校日」には、地域の方々から、毎日児童が食べている学校給食と一緒に味わっていただきました。

当日の給食メニューは、○麦ごはん○サバの味噌煮○フキと野菜の煮物○竹の子のみそ汁○さくらんぼ○牛乳、旬の味を取り入れた6品でした。

また、給食センターの武藤主任栄養士が、当日の給食メニューを例にして、昔から日本人は「主食・主菜・副菜・汁」という食事構成で、栄養素をバランス良くとる食べ方をしてきたこと、食べ物は赤（体つくる）・黄（熱や力になる）・緑（体の調子を整える）の食品に分けられこと、今日（当日）の給食もそうした工夫がされていることなどの栄養指導のお話がありました。さらに、頭の活動に必要なブドウ糖になる「ごはん」を十分食べさせること。朝食をしっかり食べさせることの大切さなども勉強になった「みんなの登校日」でした。



まちきれない笑顔の給食タイム

みんなで頑張りました

24カ所で地域花だん作業

今年も太田地域24カ所で、子ども会と地域の方々との協力で、6月4日の北川口花だんから始まり7月22日の駒場新生会を最後に2カ月に渡った花植え作業が終了しました。

天気も晴天あり、雨にたたられたり様々でした。きらりとときめき花のまちを目指してどの地域の花だんも、手際よくデザインされています。花の美しさは、人々の心に潤いを与えてくれます。潤いに満ちた心には、花や木々への慈しみと、周りの

人々への思いやりがいっぱいになります。

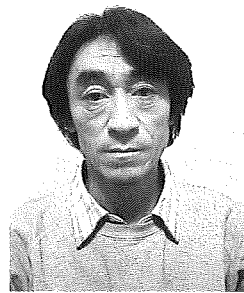
花だんを見学する機会には、ぜひ、花だんづくりに頑張られた人たちにも激励の言葉をかけてください。きっと気持ちの良い出会いがなされることでしょう。



町民いきいき北開地域の花だん作業

☆わが町の「輝人」さん☆

ちっちゃいもの倶楽部
活動開始



おが しのぶ
男鹿 仁さん
(堤 田)

私が馬術を始めてから三十数年になります。馬術は馬の背に乗っているだけで楽なスポーツだと思われがちですが、馬上でバランスを取ることで馬に高度な運動をさせているため、実はかなりの全身運動なのです。

何故『ちっちゃいもの倶楽部』なのか。三十代の時、少年団を指導する機会がありました。そこで騎手にあった体高の馬が必要だと痛感したのです。

3年前、我が子が乗りたいというので、大柄な馬に乗せたとこころ予想通りの結果でした。2年半前ポニーを調達して調教を始め、去年は太田の秋祭りに2頭参加し、地域の子供たちにも喜んでもらえたと思います。五月には、仔馬も生まれました。

今後は、地域の皆様のご理解を頂き、感受性豊かな子供の育成を目指して、多くの子供たちが生物としての馬、スポーツとしての馬を楽しめる環境を整えて行きたいと思えます。

田教室
太田俳句
選者 藤井 洋舩先生
六月習作選

真昼山の据野に開く青田風

梅雨空に光る反射の事故防止

片隅にしぶとく根付きえごの花

母逝きて四十九日や著莪の花

まだ土をしらぬ鋤手に種を蒔く

羽織る物しのばせ更衣の朝

二つ三つ頬張りながら苺摘む

ひと雨に夏匂いくる垣根かな

横たわる古希を迎えた夏の夫



野中 竜雄

高橋 光

大信田俊郎

大畑 幾子

藤原 成雄

進藤 順子

藤原八重子

田口 栄徳

高橋 良子

野短歌会
五月詠草より

体力が戻りたる夫街へ出て

黄木蓮の苗を買い来る

初夏の光りを弾く川波を

心静かに吾は眺むる

農業を担う若人なき時代

法人化とう経営なるか

夜の更けて掻き田にうつる満月の

水面に揺れて光をかえす

母の日の春まだ浅き理容室に

嫁より届くアジサイの花

「父よ見よ」あなたの愛した山桜

逝きし日のごと満開に咲く

「頼まれもしないのに」と呟く君の声

酸素マスクの下にくぐもる

シーズンは関わりのなきスキー場

春ともなれば露の臺つむ



大信田 リン

加藤 年子

草薨 ミヨ

小松 キヨ

佐々木 エツ

進藤 美津子

鈴木 アイ

鈴木 貞子



サークル・さあくる

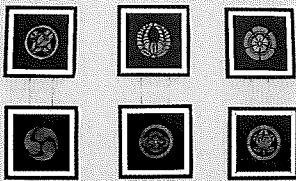
コーラスグループ
やまびこ会

代表 小田野幸子さん
練習 毎週 第1日曜日
第3水曜日

場所 太田公民館

歌集におさめられている
曲のほとんどは、懐かしい
曲ばかり。はずむ歌声は輝
いています。初心者大歓迎
くわしくは公民館まで。

No.265 **ミニ展示コーナー**



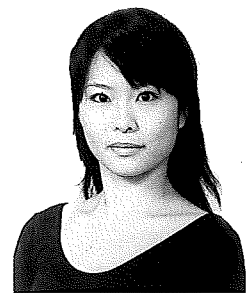
**おおた押し花同好会
習作展**

会場 太田文化プラザ
会期 平成18年8月30日まで
同好会のメンバーの最近
作を展示。今回は家紋と赤
富士の作品を鑑賞してくだ
さい。

☆わが町の「^{きしん}輝人」さん☆

Vol. 13

バレエと私



くさなぎ 草薨
あすか 亜寿佳さん
(平内清水)

三歳から始めたバレエは、高校時
代まで常に生活の一部でした。

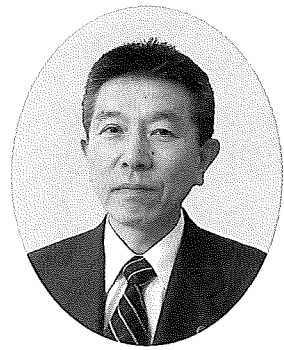
小・中・高校と学校・部活、レッス
ンとごく当たり前のよう過ぎてしま
きました。振り返ってみるとそれは
何物にも代え難い貴重な時間であり、
幸せなことでした。

きれいな衣装をまとい踊子だけで
満足していた幼い頃、小・中・高・短
大と全国コンクールや各公演に出演、
技術や表現の難しさに悩み、挑戦し
ながらも、一つ一つ乗り越えてきた
こと、さまざまなお会いもありまし
た。それらが全て心の糧となり私の
根底にあります。

私自身バレエと共に成長してきた
気がします。これからも家族の支え
や多くの皆さんの応援に感謝し、応
援して下さる方々に喜びと感動を
与えられるよう懸命に努力してい
きます。

(鶯バレエ・七月より初心者クラスを
開設しています。皆さんも一緒にい
い汗流しませんか?)

子育てに思うこと
〜憂いの中で〜



大仙市教育委員会
太田分室長 後藤 道和

を持つ親として、子育てより大事な仕事
がほかにあろうか。子供が心優しく頼も
しく育てなければその子も、家庭も、町
も、国も、世界も滅びる。
役所も、会社も、お店も、工場も、ど
の家業も、職業も大事に違いないが、そ
れはみな、子どもの心と体とを健康に育
て、幸せな世の中をつくるのに役立つか
ら大事なのだ。

その子どもが大変なとき、仕事が忙し
いとは何事だ、自分の子どもも守れない
仕事など仕事でない”。
これは、船越準備さんという方が書か
れた本の一部です。

外での仕事は、たとえば小泉さんで
も、寺田さんでも、栗林市長さんでもや
めれば他の人が代わりにやってくれま
す。

しかし、子育ては他人まかせにはでき
ない一生で一番大事な仕事のように思い
ます。さらに子育てのチャンスは二度と
ない期間限定の仕事なのです。

二人の子育てを終えた私には後ろめたさ
が胸に触ります、大人になった二人の子
が親になつたらこの本を必ず読ませよう
と心に決めていきます。

私のノートには、20年ほど前の昭和61
年8月13日付の朝日新聞の切り抜きが
貼ってあります。それは少年院の面接委
員の方が「いちずな愛がいやす心の傷」
と題して、ある母親の相談を受け投稿し
たものです。それには、東大卒のエリー
ト部長が、一人息子を東大に入れるため
に暴力をふるっての教育あまり、息子は
耐えかねて家出し非行に走り警察の世話
になった。それでも母親は、きつと正し
い人間になることを信じ、息子を支え続
けたというもので、母親の息子に対する
愛情の大切さを書いた
ものです。

数年後、その面接
委員に一人息子の母
親からの便りがあ
り、「工務店の主人に
指導され、横浜にお
店を一軒いただき、
やさしい娘さんを迎
え必死で働いており
ます」

私はこの投稿を
時々読み返し胸をつ
まらせております。

高校生が自宅に放火し、家族が亡く
なった事件は、親と子どものかかわりや
家庭のあり方について私たちに問いかけ
ている気がします。
私が時々読み返す本の一編を紹介しま
す。

「仕事が忙しいといつて子供を育てる
ことに手を抜く親がいる、巣立つ前の子

太田の子育て No.111

“宿題を手伝うな”

■インチキ親子

夏休みは日記が宿題になっていたが、後半の
ページは空白のまま、最終日になってしまった。
父「去年まじめに書いてあったな。その表紙の学
年だけ書き換えて出せばいいじゃないか」、子
「だっておしまいのところ（検）とハンコが押
している」、父「その部分を破って出せばいい
じゃないか」、子「だって先生が読めばバレる
よ」、父「絶対読まないよ、もし読んでバレたの
なら、いい先生だと感謝してゲンコもらってこ
いよ」、子「その手でいこうか」。

■コチコチ頭では子はやり切れない

この子は水泳クラブで夏休み中水づかりの生
活。エネルギーを水に使い果たした。この子なり
に充実した夏だった。ありきたりしか書けない
日記なんておかしくて。これがこの子の本音で
あり、同時に宿題をやらないわけにもゆかない
と思うのも本音である。父はわが子のこんな心
情を見抜いていた。

■八方破れか巧妙か

適当に書いて出せばバレることはない。その
意味で巧妙だ。去年のを提出すればバレるかバ
レないかは神の心任せになる。いわば八方破れ
の構えだ。これではいけない。

■あまりかまい過ぎるな

そんなにむずかしく考えないでやれるところ
までやって提出すればいい、という親たちも多
い。実はその通りなのである。夏休みの宿題とは
本来そういうものなのである。

ほんとうの充実した夏休みを送った子なら宿
題なんか二の次なのだ。

編集後記



《編集委員》後藤道和、大信田英夫、
草彅 稔、細川良隆、鈴木栄子
(草彅)

▽花の詩画家・水木鈴子先生から
献本をいただき早速礼状を差しあ
げました。「梅雨明けが待たれる昨
今、思いがけず秋田県立図書館を
通して先生の素晴らしい詩画集と
光のメッセージCDを頂きました。
心が洗われる想いで一気に読ませ
ていただきました。筆致の力強さ、
うるわしい筆跡、そして何より花
の心が伝わる絵の美しさ、日本画
の優しさが受け止められました。
大仙市太田地域は、豊かな水と
緑に囲まれた秋田県の中でも恵ま
れた穀倉地帯です。早速、家庭教育
学級、幼・小・中学校のPTA活動
等にも活用させていただきます」。
▽水木先生のこの本を落ちついて
一字一字ゆったりとした心で、肩の
力を抜いて読むと心にしみ入って
きます。太田図書館におさめまし
た。ご一読をお待ちしております。